

ちよだ ねむ こふん
故郷に眠る古墳たち

緑豊かな田舎町、
知られていない長く貴重な歴史が
あった！？



太田市立太田中学校 1年 B組

長島由依

1 きっかけ

小学生の頃に、自分の住んでいる町にはたくさん古墳があるんだと、当時の担任の先生に教えてもらったことがありました。その時の私は、「そうなんだ」というぐらいにしか捉えていませんでした。

今回、「東国文化自由研究」という課題を掲げられ、真っ先に思いついたのがこのことでした。早速インターネットで調べてみるも、聞いた話とは裏腹に、2、3基ほどしか古墳が出てきませんでした。町のホームページで書かれていそうなページを探しても、何も手がかりがありませんでした。おかしいと思い、あの話は先生の冗談だったのかとも思ったのですが、違う先生に聞いてみるとやはりその話は本当らしく、自分の住む町にはたくさんの古墳があると言われました。

本当に古墳がたくさんあるのか、そしてあるならばなぜ地元の人間でも知っている人が少ないのか、その理由をこの目で確かめてみたいと思い、この町に眠るはずの数々の古墳とそれがほとんど知られていない理由を調べる事にしました。

2 調査

まず、第一としてどのくらい古墳があるのか、古墳の場所なども含めて記録してある資料などを探すために、町の図書館へ行きました。町の図書館にはかつての千代田町の村誌や群馬県全体での文化財や古墳の資料こそありましたが、どれもインターネットで調べたら出てくる古墳などしか掲載されておらず、細かい情報は掴めませんでした。すると、その時にいた図書館の人もありがたいことにみんなで協力していただいて、「その情報が詳しく掲載されてあるものが絶対にあるはずだから。」とわたしたちが村誌などにはないか探している間にその情報を詳しく知っているという人を探すことまでしてくださっていました。皆さんの協力もあり、千代田町の様々な古墳や遺跡に詳しい方にお話していただけることになりました。



後日、お話を聞きに町民プラザへ訪問しました。お話を聞かせてくれたのは西宮さんという方で、前から小学校などで会ったこともあり、私が知りたかったたくさんの情報を教えて下さいました。そこでは、西宮さんも携わって行われた千代田町の古墳、遺跡などを調べまとめて本にした資料の一部のコピーや、普段から町民プラザなどに置いてあるリーフレットなどをもらい

ました。そして、百聞は一見にしかずだと、急遽町の中にある古墳ツアーに連れて行って下さいました。

【西宮さんとのお話ともらった紙の資料などからわかる・わかったこと】

- ・「歴史散策 千代田町の文化財 千代田町教育委員会」
（町民プラザにて無料配布されているリーフレット） から分かること

ここに大きく記載されている古墳の数は赤岩光恩寺の堂山古墳と、赤岩安楽寺の米山薬師古墳の2つでした。この2つは千代田町の古墳の中でも大きめな古墳で、説明看板が立ててあるのもこの2つだけだそうです。他にも大きくはありませんが掲載されている古墳に、八幡山古墳、観音山古墳、浅間山古墳の3つがありました。古墳群の名前と場所も書いてあり、西ノ原古墳群、富士原古墳群、桜山古墳群の3つの古墳群が見受けられました。もうひとつ、古墳は国や県、町などの重要文化財に指定されていない事もわかりました。こちらは西宮さんが教えて下さり、古墳は誰かのお墓でもあるので、重要文化財などに指定できないとのことでした。



そして、千代田町内で土地開発を行う場合は、その場所が周囲の埋蔵文化財包蔵地（土地に埋蔵されている文化財を包蔵する土地）であれば、遺跡の有無を確認しなければならないこと、確認の方法、その後についてなどが丁寧に記載されていました。これも、町の文化財を守っていくためには手間がかかったとしても大切なことなのだと思います。

- ・「千代田町の遺跡―町内遺跡分布調査報告書―
1995 群馬県邑楽郡千代田町教育委員会」 から分かること



記載されている古墳の数を数えてみたところ、千代田町には33基の古墳があるということがわかりました。ほかにも、のっていないものも含めれば37基ほどあるとのこと。インターネットで調べた際には主に3基ほどしか出てこなかったのですが、実

際は10倍以上あるということでした。他の遺跡も合わせれば、79もの遺跡が千代田町にあるとのこと。この資料は地図でわかりやすく古墳の場所や形が記載されていて、たくさんの古墳がどの位置にあるかが目で見てわかります。基本的に円墳が多くはありますが、堂山古墳が前方後円墳なので、西宮さんの話によれば、この千代田町のあたりにそれなりに勢力を持っていた豪族が居たか、勢力の強い豪族とつながっていた人が居たということが分かるとのこと。この資料の中に遺跡の一覧表があったので、古墳、遺跡で見つかった埴輪の数を数えてみると、全部で19個もありました。中には、東京の博物館などの倉庫に保管されているものもあるとおっしゃっていました。

そして、古墳がたくさんあるのはもちろん、たくさんの遺跡も眠っていて、利根川とは反対側に貝塚が見つかったことから、利根川は昔くらかけ（サントリービール工場の近くのこと）の方に流れていた可能性があるとのこと。他にも、打製石器のような出土品が出た遺跡もあり、千代田町には旧石器時代から人が住んでいたという、とてつもなく長い歴史を持っているすごい土地だということも教えてもらいました。

資料には、現在その遺跡がどうなっているかなども書いてありました。畑や山林となっていたり、神社になっているところや宅地などの私有地となっているところも見受けられました。

・町民プラザ内での調査でわかったこと

今回西宮さんにお話を聞きに行った町民プラザ内にも展示されている出土品などがあったので、そちらについてもお話していただきました。

町民プラザには、模様が残った埴輪の欠片がいくつか展示されており、至近距離で拝見させて頂きました。中には模様がはっきりと残っている物もありました。一見模様があるのは普通のことに見えますが、遥か昔古墳時代に作られ今まで模様が残ったままだという事はとても凄い事だと実物を見て改めて感じました。他にも、縄文時代や弥生時代のものもたくさんありました。



そして、古墳についてお話していく中で、千代田町古墳はどれも盗掘されているものが多く、発掘しても何も出てこなかったり、無造作にほられて



西宮さんと私

いたりして出てきても状態がひどいものがほとんどだそうです。その欠片一つ一つもたくさん保管されているといいます。他にも、古墳があるところは山林になっている事が多いのですが、太田市の塚廻り古墳や埼玉県行田市の坂巻古墳群、羽生市の小松古墳群などの埋没古墳が近くにたくさんあったので、千代田町のそのへんの田んぼの下にもしかしたらあるかもしれないと考えても面白いとおっしゃっていました。

【西宮さんとの古墳ツアーからわかったこと】

今回の古墳ツアーでは主に4つの古墳を見に行きました。

まず、光恩寺にある堂山古墳に行きました。付近に立ててある説明看板によると、この堂山古墳は全長約80メートル、高さ8メートルほどの前方後円墳で、光恩寺にある古墳だそうです。このあたりではかなり大きめで、こちらの古墳は調べると出てくるものです。築造は古墳時代と推定されていて、延宝年間（1673年から1681年）に石室が開口されたと伝えられており、その時の出土品の一部である直刀などは現在光恩寺に保存されているとのことです。こちらの刀は滅多に見れない



赤井照光の墓



光恩寺の梵鐘

ので、西宮さんはどうしても見たい場合は事前に連絡し、しっかりした理由などを言えば見せてもらえるかもしれないとおっしゃっていました。この古墳の頂上には、前方部に館林城主「赤井照光」の墓碑と五輪塔があり、後円部には光恩寺の梵鐘があります。どちらにも説明看板が立ててありました。それによると五輪塔は、鎌倉時代に佐貫荘を治めていた佐貫氏の子孫で、初代館林城主となった赤井照光さんの墓と伝えられているそうです。堂山伝記というものによればこの赤井照光さんは臨終の際、「赤岩山は

先祖の菩提寺なれば、わが骨は堂山に埋めよ」と言い残して、その子山城守左衛門は、遺言のとおりこの堂山に埋葬して碑を建てた、と記載されていました。光恩寺の梵鐘については、町指定重要文化財となっており、戦争中には国の重要美術品とされた名鐘となっています。元禄16年9月に作られ、撞座に金剛界五仏の種字を配していて、乳の間には梵字百字真言が見事に鑄造されているそう。これは元禄文化の一端を知る上で貴重であるとのこと。各地の梵鐘は、戦争で金属が必要となり、そのせいでほとんどが犠牲になってしまったそうです。ですがこの光恩寺の梵鐘は「美術品」として扱われたことから、いままで残っている数少ないすごく貴重な梵鐘だそうです。

次に米山薬師古墳へ行きました。光恩寺の西隣にある安楽寺の山門をくぐり、左手にあります。こちら説明看板が建ててある古墳で、現在は高さ約8メートル、直径30メートルほどの円墳です。こちらも古墳時代に作られたものだとは推定されている古墳です。既に発掘されていますが、出土品は残されていないそうです。石室は横穴式、石材は浮石質紡錘状角閃石安山岩（榛名山二ツ岳の噴火で生成された火山弾）であることが確かめられているそうです。墳上には薬師堂が建てられて、当地方の歴史を知るうえで貴重な古墳だそうです。



次に中島神社内にある浅間山古墳へ行きました。こちらの古墳は詳細があまり公開されていませんが、意外と大きめな古墳となっています。実際に登りましたが、かなり高く、古墳特有の段々となっている部分もわかりやすくなっている古墳でした。付近の富士原古墳群の一つでもあり、この浅間山古墳は富士原古墳群

8号墳です。調査報告書には、上毛古墳綜覧永楽村第7号とも記載されていました。この古墳から、埴輪が出土していることもわかりました。

次に、千代田町の古墳ではありませんがすぐとなりの大泉にある古海原前1号墳というところに行きました。こちらの古墳はすごくきれいに整備されており、大きくはありませんが古墳の形がよくわかり、案内板なども充実していました。西宮さんは、千代田町の古墳も全部このように整備できたら良いのだけれど、たくさんの費用がかかってしまうことや、私有地となっている場所にはできないし、一度すべて掘り起こさなければいけないらしく、大変多くの手間もかかってしまうので、簡単にはできないとおっしゃっていました。



最後に、観音山古墳へ行きました。この古墳は外から見ても古墳だとわからないような場所ですが、武士の頭部の埴輪が出土している、凄い古墳だそ

うです。しかもその埴輪は東京国立博物館にて展示されているといえます。しかし、この古墳は少し削られてしまっていて、削られたときにくだけた埴輪の欠片がいくつもあり、雨の後はまるでただの石のように表面に出てきていることもあります。ちょうど私が調査に行った日も、前日の夜に激しい雨が降っていたので、たくさんの欠片が至近距離で見れました。西宮さんがいくつか表面に落ちていた欠片を2つ拾って、持っていったいいよとなんと埴輪の欠片を頂きました。はじめは盗掘にならないかと焦りましたが、西宮さんがほったりして意図的に盗掘のようなことをしたら犯罪になってしまうけれど、今回は許可を出しているし大丈夫とおっしゃっていたのでありがたく頂きました。大変貴重なものなので大切に保管しようと思います。この欠片にはしっかり模様が残っていて、角度などを考えたらどんな埴輪だったか予想することもできるよとおっしゃっていました。そして、観音山古墳や浅間山古墳はほぼインターネットで調べても詳しい情報は明かされていない理由を尋ねると、もう既にたくさん盗掘されている千代田の古墳ですが、最近でも無断で古墳を掘ったりいたずらする人がいるらしく、場所に説明看板などを立てると、ここが古墳だということがわかって掘り出す人が出てくる恐れがあるので、建てていないとのこと。古墳を守るためにも、情報を公にしないことも大切なのだなと感じました。



もらった埴輪

3 まとめ

- ・千代田町には37基も古墳がある
- ・中でも古墳群は西ノ原古墳群、富士原古墳群、桜山古墳群の3つである
- ・私有地となっているところ、神社になっているところ、もうないところと状態は様々
- ・古墳は重要文化財に指定されることはあまりなく、出土品などが指定されることがほとんどである
 - 指定基準に満たない場合がほとんどのため
- ・堂山古墳は前方後円墳である程度大きめなので古墳時代、千代田町にはそれなりに勢力を持っていた人間がいた可能性が高い
- ・千代田町の古墳は盗掘されているものが多い
- ・千代田町の古墳の殆どの情報が明かされていない、説明看板などが立っていない理由は、盗掘やいたずらが多いのでこれ以上の被害を増やさないように、古墳の場所がわかってしまうとまた被害に遭う恐れがあるため

4 感想

私が住んでいる千代田町という場所は、緑豊か、という取り柄があります
が、正直それ以外は何も無いと思われがちです。実際私も、じゃあそれ以外
に何があるのと聞かれたらすぐには答えられませんでした。しかし、今回自
分でも知らなかった千代田町の古墳を調べていくうえで、自分が住んでいる
この地には長く素晴らしい記憶が刻まれていることを知り、感銘を受けまし
た。今回の古墳時代のこと以外にも本当はこの田舎町は旧石器時代から人が
住んでいる地だったかもしれないという事実、素直に驚きました。そし
て、それらの記憶をものとして、場所として残してくれているのが古墳や埴
輪だということも改めて実感し、それらを守っていくために私達ができるの
はどんなことなのか考えるなどいい経験がたくさんできました。今回の調査
は、自分にとっても知識を増やすことができたし、この地にとっても嬉しい
ことであってほしいとも思いました。しかし、決してすべての古墳が残って
いるわけでもないし、未だに調べることができていないものや、また盗掘さ
れてしまったりとその一つ一つのエピソードは良いことばかりではありませ
ん。だからこそ、それらを残していけるようにまずは「知る」というところ
から踏み出すことができて嬉しかったです。

参考文献

- ・群馬県千代田町公式ウェブサイト より
千代田町の文化財

→<https://www.town.chiyoda.gunma.jp/kyoiku/syogai/syogai003.html>

- ・歴史散策 千代田町の文化財 千代田町教育委員会
- ・千代田町の遺跡 一町内遺跡分布調査報告書一
1995 群馬県邑楽郡千代田町教育委員会

今回、取材などに協力してくれた方々

○西宮さん

○山屋記念図書館の皆さん この度は、ご協力ありがとうございました。